

「さんべ夢ステージ【さんべミニ冬まつり編】」

1 趣 旨

- ・主体的に社会に参画しようとしている青年に、将来のリーダーとなるための、リーダーシップを身につける上での体験を通した学びの場を提供する。
- ・リーダーシップをキーワードに、企画・運営の様々な場面で合意形成・問題解決を繰り返す中で、対人関係力等リーダーとして必要な資質・能力の向上を図る。

2 事業の概要

- (1) 期 日 ①企画編 平成27年 12月 19日(土)～20日(日)【1泊2日】
 ②本番編 平成28年 2月 19日(金)～21日(日)【2泊3日】
- (2) ボランティア参加者 ①企画編 29名(大学生29名) ※募集 35名
 ②本番編 11名(大学生11名) ※募集 35名
- (3) 「さんべミニ冬まつり」参加者 106名(33家族) ※募集150名
- (4) 主な研修内容

【①企画編】

1日目午後・夜	○アイスブレイク ○概要・日程説明 ○企画の班編成・話し合い
2日目午前・午後	○企画の話し合い・試行 ○ふりかえり

【②本番編】

1日目	○めあて・日程の確認 ○実習「歩くスキー」 ○企画の準備
2日目午前	○企画の準備 ○オープニング
2日目午後	○企画の運営「さんボラお楽しみ企画①」(選択活動の1つとして位置づけ)
2日目夜	○企画の運営「さんボラお楽しみ企画②」(選択活動の1つとして位置づけ)
3日目午前・午後	○企画の運営「さんボラお楽しみ企画③」 ○片付け ○ふりかえり

(5) 「さんべミニ冬まつり」の日程及びさんボラお楽しみ企画の参加者数

		13:00	16:30	19:00	20:30
2/20 (土)	受付 オリエン テーション 昼食	選択活動① A.さんボラお楽しみ企画①(10名) B.白銀の世界へ歩くスキーで出かけよう C.冬の三瓶をかんじよう 和かんじきハイキング (天候不良により「カブラ&遊びリンピック」を追加)	つどい 夕食 入浴	選択活動② A.さんボラお楽しみ企画②(30名) B.冬の星空観察 C.絵本の読み聞かせ&カブラ	休憩 入浴 就寝

		6:30	9:30	12:00	13:00
2/21 (日)	起床 つどい 清掃・朝食	さんボラお楽しみ企画③ (104名)	昼食	退所 ※さんボラ	さんべで活躍するボランティアのことで。

3 成果と課題

《成 果》

- ・ 本事業は、次代のリーダー養成事業「さんべ夢ステージ【さんべ祭編】」の第2弾と位置づけて実施した。担当職員は【さんべ祭編】と同様にファシリテーター・アドバイザーの役割を担うこととした結果、ボランティア同士で積極的に意見を出し合うなど主体的に活動する様子が多くみられた。
- ・ 初めて当施設の事業に参加したボランティアの中には大学内の掲示板を見て応募したという声があった。これは、ボランティア募集の広報手段の一つとして、開催要項チラシをポスター版にして県内大学等へ掲示を依頼した成果である。
- ・ 今年度は新たに「さんボラお楽しみ企画」の枠を1つ追加し、例年以上にボランティアが企画運営する時間を多く設定した。①企画編では、昨年度の様子を伝えて事業のイメージをボランティア全員で共有した後、「さんボラお楽しみ企画」の内容を4つのグループに分かれて話し合った。少人数でのグループ編成により、班の仲間と合意形成を図りながら企画の内容を考えていき、随時各グループの進捗状況を発表しブラッシュアップを行った。②本番編では、ボランティア全員が「さんボラお楽しみ企画」の運営に携わった。参加者に対して積極的に声掛けしたり、周囲の状況に応じてボランティア同士で連携を図るなど、対人関係力等リーダーとしての力量を高めることができた。



《課 題》

- ・ 「さんべミニ冬まつり」は9年目の継続事業であり、毎年楽しみにしている家族もあるが、ボランティアにとって、この時期は積雪や天候が不安定で企画を立てにくいことや大学の行事と重なりシリーズを通しての参加が難しいことが挙げられる。開催時期を早くするなど検討が必要である。
- ・ 本事業は、次代のリーダー養成事業として位置づけている。よって、ボランティアが企画から運営まで全てを行うなど、ボランティアがより主体的に活動できるよう事業内容を検討する必要がある。

(担当：企画指導専門職 今井 隆雄)

